

第78回「ハートミーティング」意見交換の内容について 上下水道局「給水勉強会」

★市長からのコメント

- 職員それぞれが個人で持っている経験や知識を集めることで、職場全体の基礎力を上げることができる。経験や知識を定期的に共有、具体化する仕組みは素晴らしい。

- 京都市の水道水を直接飲む人が増えてきた。これは京都市の水道水への信頼が高まっているということである。皆さんのおかげで安全で安心な水道水を供給することができる。

- 京都市の仕事の中で唯一、市民の方の体の中に直接、毎日入っていくのが、上下水道局の仕事。水道とは単なる水の道ではない。水道により、世界中の人々が華を愛で、茶を味わう。京都では華道、茶道に通ずる。「道」は哲学。水道は、人々の生活を支え、健康を増進し、自然と共存するもの。人々の暮らし、生き方、まちのあり方をいかに引き継ぐか。上下水道は、未来の可能性を拓く哲学。皆さんには誇りと使命感を持ち、これからも頑張ってもらいたい。

★参加メンバーからの主な声

- 給水勉強会は職員の知識向上と技術継承を目的にしており、これまでの成果物を実際に市長にも手に取って見ていただくことができ非常に良い機会となった。市長から賞賛や激励のお言葉をいただくことができ、今後の活動の励みにしていきたい。
- 本勉強会のメンバーだけでなく、みんながスキルアップするため、どのように他の職員を巻き込んで伝えていくか、市長の経験談がこれからの活動のヒントになった。
- 水道水は体の中に毎日入っていくものであり、最も身近なものであるとおっしゃっていたことが印象的だった。普段、直接市民の方々と接する機会は少ないが、私たちの仕事は、市民生活に必要な水を届ける重要な仕事であることを改めて感じる事ができた。
- 本勉強会のように、ボトムアップで業務改善していくことが重要であるという事を再認識できた。これからも視野を広げ、多角的な意見を取り入れることで、より良い業務遂行につながるよう活動していきたい。